

エモい言葉の日常

「エモい」言葉が誕生した裏側に迫った1冊。

蒼井ブルー・著

★本当の「エモい」が見つかる本★

エモい言葉の日常

蒼井ブルー



オキシトシン。ずっとオキシトシン。
心がもっと柔和になる～
—— 新しい学校のリーダーズ・MIZYU
むねがキュンと…何気ないこの日々が愛おしく感じます。
幸せな気持ちで満たされました。
—— 在原みゆ紀

「エモい」の
正体
に
迫
っ
た
誰
も
知
ら
な
い
蒼
井
ブ
ル
ー
の
原
点

ぼく言葉は
こうして生まれた。

フォレスト出版

秋が寂しいのではない。
寂しい人に秋が来たのだ。

「お茶しよう」と言ったけれど
本当は「会いたい」でした。

好きな人の安心して眠れる理由になりたいし、
ときどきは眠れない理由にもなりたい。

—以上、本文より

SNS で、著書で、これまで幾度となく「エモい」と共
感の嵐を呼んだ蒼井ブルーの言葉はどのようにして生
まれたのか？

「エモい」言葉が誕生した裏側に初めて迫った1冊。

蒼井ブルー撮り下ろし 32 枚の写真も掲載！

《主要目次》

はじめに

Chapter 1 恋をするということ

—チョコはもらった瞬間がいちばん甘い。

Chapter 2 隣にだれかがいるということ

—人を思う歌が染みるのはだれかを本気で思った
ことがあるから。

Chapter 3 生きるということ

—夜ふかしが楽しいのは今日が終わらないから。
おわりに

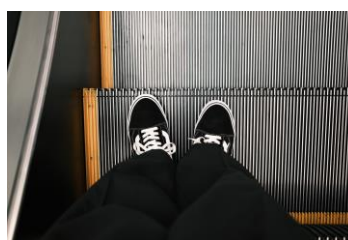
《書誌情報》

本体価格-----1650 円

ISBN-----978-4-86680-290-9

ページ数-----192 頁

判型-----四六判並製



《著者プロフィール》

大阪府生まれ。文筆家・写真家。2015 年、エッセイ『僕の隣で勝手に幸
せになってください』(KADOKAWA) でデビュー。たちまちベストセラーに。
以降、書籍、雑誌コラム、広告コピーなど活躍の幅を広げている。ほかの
著書に、『NAKUNA』『ピースフル権化』(以上、KADOKAWA)『君を読む』『も
う会えないとわかってから』(以上、河出書房新社)『こんな日のきみには
花が似合う』(NHK 出版) などがある。

初版 7000 部